

県とAMD A・阿波銀

災害時医療協定結ぶ

徳島県は3日、南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、国内外で医療活動を行っている岡山市の認定NPO法人・AMD Aと阿波銀行との3者で医療救護活動に関する協定を結んだ。

県庁で締結式があり、飯泉嘉門知事とAMD Aの菅波茂代表、阿波銀の大西康生代表取締役専務が協定書を交わした。菅波代表は「徳島県の役に立てるようなシステムを築きたい」と話した。

協定では、大規模災害発生後、県がAMD Aに医療救護チームの派遣を要請。AMD A

は全国から医師や看護師を集め、県内で医療

活動に当たる。阿波銀は県の求めに応じ、AMD Aの活動経費を優先的に融資する。

また、美波町が同日、AMD Aと個別に

大規模災害時の支援に関する協定を結んだ。災害時の救援に加え、平時から連携して合同訓練や研修を行う。

(岸和弘)